

金城学院幼稚園 2025年度

こどもニュース

12.19

発行

No.16

【クリスマスおめでとうございます！】

一か月にわたるアドベントの期間をご一緒に過ごさせていただきました。多くの準備とクリスマスを迎える喜びを皆様と分かちあう事ができました。心から感謝いたします。

こども達も礼拝で4本のろうそくに一本ずつ灯が灯されるのを見てきました。イエス様の光でもあるろうそくの灯り、1週間で1本、というスピードは現代社会の中ではなんとゆっくりに感じられることでしょう。

普段の生活ではそのような時間の区切りで何かを待つことは少ないのではないかと思います。だからこそ、こども達は礼拝の度に灯されるろうそくの明かりを固唾をのんでじっと見ていました。

灯される4本のろうそくにはそれぞれ意味があります。

1 本目は「希望」

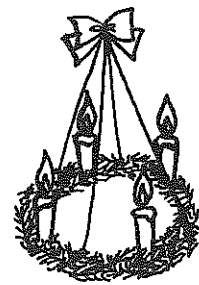
讚美礼拝の始まりは預言者イザヤの言葉から始まりました。予言通り、世の光であるイエス様が私たち人間のところに生まれてくださった、その希望を表していると言われています。

2 本目は「平和」

「天使のキャンドル」とも呼ばれ、天使が「地には平和」と賛美したことから平和を意味するろうそくとされています。

3 本目は「喜び」

イエス様のお誕生を誰よりも先に知った羊飼いたちは、神様がもたらす喜びを一番最初に分かちあいました。その喜びを表しています。



4 本目は「愛」

神さまはたった一人の御子を私たちにくださいました。その深い「愛」を表しています。

讃美礼拝では、これら 4 本のろうそく全てに灯りがともされました。

子ども達に抱かれたイエス様に「希望」を見出し、声をあわせて歌う姿に「平和」を感じ、礼拝の最後に全員がイエス様のもとに集まり「喜び」讃美する姿は「愛」そのものでした。

【本当のクリスマス】

私達弱い人間の罪を全て背負い、十字架にかかるために生まれてきてくださったイエス様のお誕生を喜び、同時にご自分のたった一人の御子であるイエス様を私達人間の世界に与えてくださった神様に感謝する本当のクリスマスを迎えます。

世界中で華やかな飾りに彩られ、楽しげなクリスマスソングが流れるこの時期ですが 2000 年以上前、ユダヤの人々が「待つ、待つ、待ち望み」ようやく迎えた最初のクリスマスは大きな喜びに包まれたものでありながらも、電飾などの華やかさも豪華さもない、暖房さえもない寒い馬小屋で、とても静かなものだったのではないのでしょうか。深い喜びは、時には静かに身体の奥底から立ち上がってくることがあるように思います。

様々な状況に一喜一憂し、振り回されてしまう私達はとても弱い存在で、今なお争いや戦いを収めることすらできていないですが、神様はいつも変わらずそばにいてくださいます。そのことを覚え、本当のクリスマスと共に喜び、祈りましょう。

【贈る喜びを感じる「クリスマス」プレゼント】

クリスマスからお正月へと、この時期「もらう」ことの多いこども達ですが、園では大好きな人に心をこめて贈る喜びを知ってほしいと考え、おうちの人へのプレゼントを作りました。心をこめて作ってきた過程はそれぞれの学年のあつまりの記事をお読みください。大好きな人に喜んでいただける幸せ、贈る喜びを経験できる時となりますように。

【2 学期もありがとうございました!】

この時期、各教会ではクリスマス礼拝やお祝いの会を行います。この機会に是非お近くやお友達の通う教会をお訪ね下さい。

2 学期を皆様と歩ませていただいたこと、お支えいただいたことに心から感謝します。皆様の年末年始が神様の祝福に満たされた温かな時間となりますようお祈りいたします。

児玉 芽 

年長さんからのプレゼントは…

ものいれ ぼくす

& なんでもいれ です♪

☆プレゼントって嬉しいよね☆

あつまりの中で「クリスマスプレゼント」について、子どもたちと話をしました。すると、「自分たちはプレゼントをもらうけれど、お父さんやお母さんはもらっていないよ」と話す子どもたちがいっぱい。保育者が「年中さんの時のように幼稚園でうちのひととプレゼント交換ができたらどう?」と聞くと、「みんな嬉しいね!!」と笑顔があふれました。「うちは、クリスマスパーティーの日に家族でプレゼント交換してるんだよ〜」と話し、交換の仕方を教えてくれた子もいました。大好きな人に贈る、その日を楽しみにしながら、みんなでプレゼント作りを始めました。

☆どんなクリスマスカードにしようかな☆

運動会のメダル作りでは、贈る相手のことを想いながら気持ちを込めてプレゼントを作る姿がとても素敵だった年長さん。今回も丁寧に時間をかけてカード作りに取り組む子がたくさんいました。雪だるま、雪の結晶、ケーキやパーティーのごちそうなど冬やクリスマスをイメージして、カードいっぱいに絵を描いていく子どもたち。隣の席の子が描く絵をチラッと見て模倣する子や「かわいいね」と声を掛け合う子など、お互いに刺激を受けながら楽しんで作る姿が微笑ましかったです。

☆上達しました、やすりがけ☆

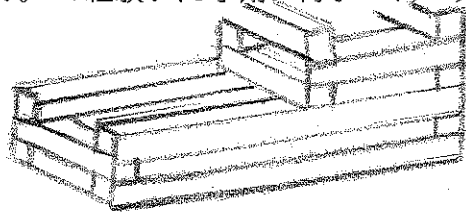
昨年度、プレゼント(お盆)を製作した時は、やすりを上手くかけられない子がたくさんいたので、木材に黄色い印をつけて削りました。今年も最初は「年中の時もやすりって大変だったけど、年長になっても大変一つ」なんて声も聞こえてきましたが、1年間で様々な経験を積み重ね、心も身体も成長した子どもたちは、目で見て、手で触って、やすりのかかり具合を確認しながら、集中して取り組むことができるようになりました。縄跳びやウィ빙作りを通して、時間をかけて完成させた時の達成感や喜びを知っているからなのかもしれません。ひとつひとつ丁寧に伝えることで、ぐ〜んぐ〜んと伸びる子どもたちなんだと改めて感じ、嬉しくなります。また今年の年長さんは、「〇〇ちゃんの木、スベスベだね」「(やすりがけが終わって)〇〇くん、すごいじゃん」など自分のことだけではなく、友だちの頑張っている姿を認め、相手に自分の言葉で伝えられる子がたくさんいます。心が愛で満たされているからこそ、友だちに優しい言葉をかけることができるのだと思います♡



☆見本を見ながら組み立てられるかな☆

やすりがけが終わると、次は組み立てです。まずは、板1枚+長い木4本+短い木8本を使い、保育者が子どもたちの前で見本を作りました。今回は保育者がひとつひとつ教えるのではなく、子どもたち自身が見本を見ながら立体的な構造のつくりを想像し、頭の中で思い描きながら考えてもらいたいと思いました。「一番下は、何本の木があるかな」「短い木は、どうやって重なっているんだろう」など試行錯誤する中で、『思考力』が育まれてほしいと願ったからです。「見本を見ながら同じように作ってね」と子どもたちに伝え、最初はボンドをつけずに組み立てだけしてもらいました。ささっとできてしまう子もいれば、「ん？1本、木が余っちゃったぞ??」と困惑している子や「(木の)端と端が合わないっ!」と焦る気持ちから怒れてしまっている子も。「もう一度よく見てごらん」と伝え、ハッと気づいて修正。自分で気づけるところがやっぱり年長さんですね! ✨組み立てられたら、今度はボンドつけです。どの部分にボンドをつけると接着できるのか、自分で考えて作りました。中には、端だけボンドをつけるべきか、全体につけるべきか迷いながらも間違えてしまう子、勢いで全体にボンドをつけて間違えてしまっている子も。保育者が敢えて何も言わずに見守っていると、「あーっ、端だけで良かったのかーっ!!」と気づきの声が聞こえてきました。子どもたちが作る様子を見ていて、『試す→考える→ひらめく』姿があちらこちらで。この経験が、3学期の椅子づくりに繋がってほしいと思っています。

々



々

々

々

☆プレゼントのネーミングは☆

学年のあつまり前日に「プレゼントの名前を考えてきてね」と宿題を出しました。当日、宿題をしてきた子は半分くらいでしたが、「ママパパボックス」「おやつボックス」「一番いいプレゼント」「ペン入れ」「小物入れ」「長靴ボックス」「特別プレゼント」「サンタの靴ボックス」「ラッキーボックス」「やすり掛けプレゼント」など個性あふれる名前が次々と出てきました。どうしてその名前が良いと思ったのか理由も聞いていくと、「携帯入れ場」とネーミングした子は「ママが携帯をよく無くすから」と。それぞれの思いが込められた名前の中から、多数決で1つ選ぶことにしました。多数決を2回行い、最後は「物入れボックス」VS「何でも入れ」の戦い! しかし、結果はわずかに2票差!! 負けた方の子どもたちから「えーっ」という落胆した声が…。保育者が「どちらの名前も人気だったから、2つを合体できないかなあ」と提案してみると、いくつか候補が上がり、最終的に「ものいれボックス&なんでもいれ」という素敵な名前になりました! ✨「なが〜い名前だけど、覚えられる?」と子どもたちに聞いてみると、「もう覚えちゃったも〜ん♪」と自信満々。保育者は、一度聞いただけでは覚えられず、是非お家で、プレゼントの名前や使い方をお子さんに聞いてみてください♡

☆



(Rina)

年中さんからのプレゼントは…



わごむ ひっかけ ボードゲーム

めざせ!くぎうちマスター!!

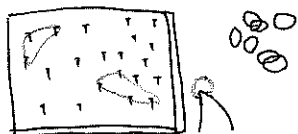
家族の日のプレゼントではやすりがけマスターを目指していましたが、今回は釘打ちに挑戦☆釘打ちを初めて経験する子も多くいたので、最後まで打ち込むのではなく、より多くの釘を打つことにしました。片手で釘を押さえながら金づちで打つことに苦戦していた年中さん。釘が倒れてしまったり、思うように釘が入っていかなかったり…。それでも根気よく繰り返し挑戦していくうちに、コツを掴んだようです!コツを掴んでからは、打つことが楽しくなってきた「これ楽しいね〜!!」「まだまだ打ちたい!!」と何本も釘を打つ姿がありました。曲がってしまった釘を、釘抜きを使って抜いて打ち直したりする子や、もう打つ場所ないのでは?!!と思う程、土台にびっしりと打った子もいました。その姿はまさに【釘打ちマスター!!】土台にあいている釘の穴は、年中さんたちが頑張った証です!!この経験が、トントンコーナーに行ってみようかな、色々な物を作ってみようかな、という気持ちに繋がっていったら嬉しいなあと思っています。



待ちに待ったわごむ!

釘を打っている時から、輪ゴム早くやりたい!! まだ!?!と心待ちにしていました。色々な向きにひっかけてみてできた模様を楽しんだり、試行錯誤して形を作ったり、迷路にしてみたり、たくさん考えていました。そして、この模様をプレゼントしたい!おうちの方に見せたい!と思ったところをプレゼントにしました。ぜひ、おうちで一緒にたくさん遊んでくださいね!

ハートどうやって作ったらい?



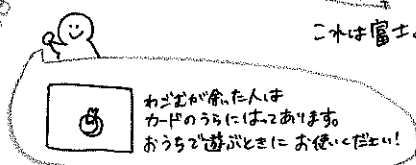
ママの好きな模様
作ってるんだー♡



迷路作っ作!

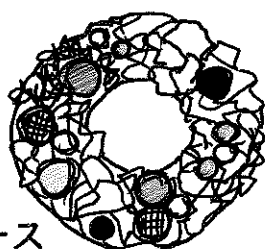


クリスマスカードを描きました



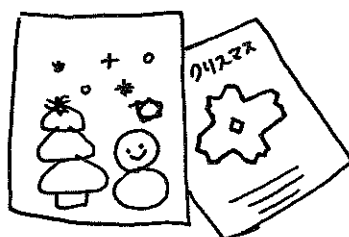
暗い色の画用紙にはどんな色で描くときれいに映るかな?と試して、楽しみながら描く姿がありました。白や黄、水色がきれいに映る様子に喜びながら、じっくりと時間をかけて描きました。本物の木のように幹から枝を生やしてクリスマスツリーを描くことに挑戦している子もいましたよ。年中さんが楽しんで描いたことが伝わってくるカードができました♡ (あゆみ&ゆきえ)

年少さんからの プレゼントは…



リース

と



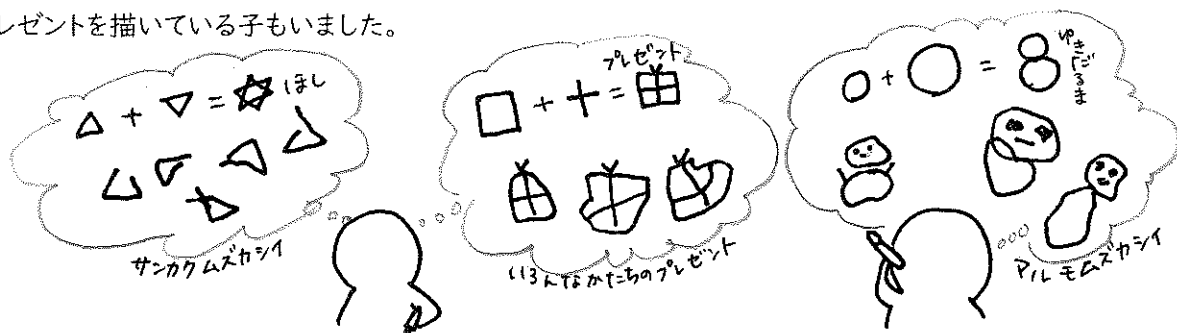
カード

です☆

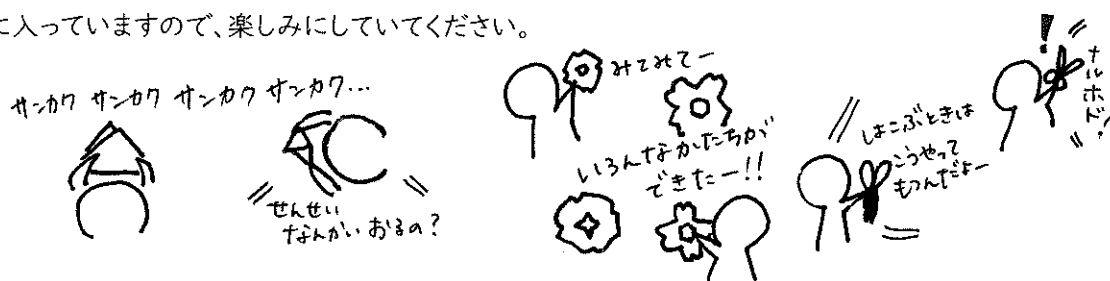
1 学期、家族の日におうちの方にプレゼントを贈ったことを覚えていた年少さん、「よろこんでた」「うれしいって言ってた」とその時の様子を教えてくださいました。また、そんな家族の姿を見てみんなはどう思った?という問いかけにも「ぼくもうれしかった」「(プレゼントを)あげてよかった」という答えが返ってきました。もちろんプレゼントをもらうことも嬉しいことですが、誰かにプレゼントを贈ることもまた嬉しいということが伝わってくれているようです。

カードをつくろう!

クリスマスにテーマに描く子、自分の好きなものをいっぱい並べる子、おうちの方たちに向けて書く子、2学期から使い始めたサインペンで思いおもいの絵を描きました。○△□を使ってツリーやゆきだるま、プレゼントを描いている子もいました。



そして今回のカードは“切り紙”つきです!実は年少さんはあつまりの中で繰り返し切り紙の経験を重ねてきました。初めは大きな折り紙で、次に小さな折り紙でも挑戦しました。今回は小さな折り紙をさらに小さく折って切り紙をしました。角と角を合わせて折ることも上手になってきましたし、折った後の角を切り落とすこともよく知っています。これまでに作った切り紙は年度の最後にお渡しする「おもいで」という作品集に入っていますので、楽しみにしててください。

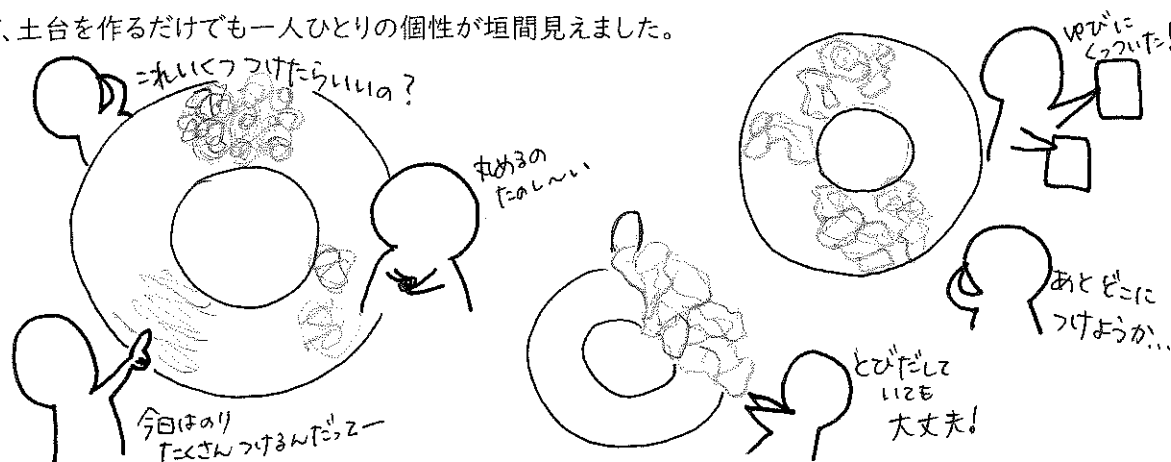


“リース”づくり

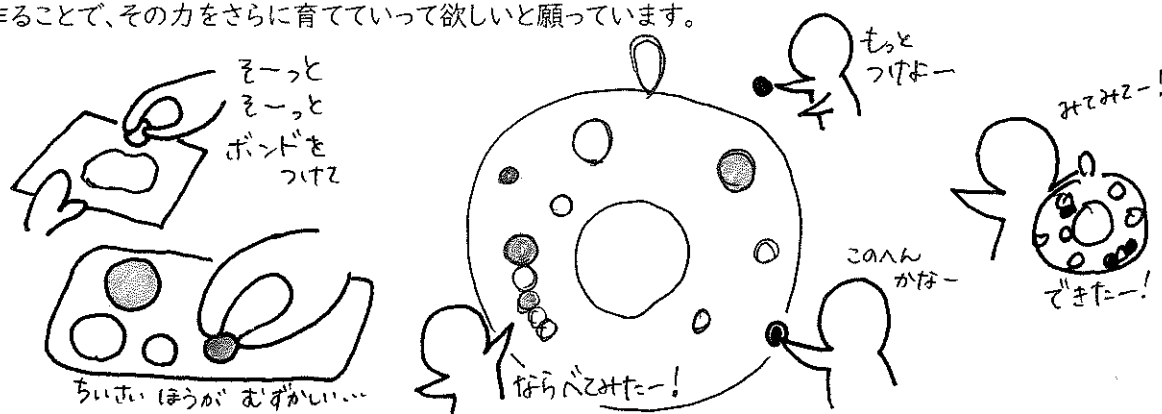
子どもたちに完成の見本を見てもらったら…「ツリー！」という元気な答えが!きっと“リース”よりも“ツリー”の方がなじみ深いんですね。丁度クラスにもおうちの方々が作ってくださった素敵なリースを飾り付けたときだったので、子どもたちも「ああ、そういえばあったなあ」とイメージが膨らんだ様子でした。

今回は新しい素材に挑戦してみようと、お花紙やポンポンを使って作りました。また今までのりを使う経験は繰り返してきましたが、新しくボンドも使ってみることに。

まずは土台にのりをたくさんつけて…丸めたお花紙をのせていきます。力がこもってお花紙の丸がどんどん小さくなっていく子やすき間を作らないように丁寧に間を埋めていく子、フワフワに仕上げる子など、土台を作るだけでも一人ひとりの個性が垣間見えました。



土台ができた後はポンポンで飾り付けをしました。ポンポンを指でつまんで、ボンドを付けて、好きな場所にくっつける。“つまむ”という動作はなかなか難しい!自分の身体を自由に動かすことができる力、細かな部分もコントロールする力が育ってきている年少さん。その力を使って、楽しみながらプレゼントを作ること、その力をさらに育てていって欲しいと願っています。



カラフルなポンポンで飾りつけされた“リース”、どうぞお家で飾る場所を子どもたちと相談してみてください。年少さんからのプレゼントが、みなさんのおうちに素敵なクリスマスの喜びを運んでくれますように♪



にじぐみさんのプレゼントは…      …

手形クリスマスツリーのタペストリー&キャンドルのクリスマスカード

クリスマスといえば「サンタさんのプレゼント!」と答えていたにじぐみさん。クリスマスのお話を繰り返し伝え、お部屋の中もクリスマスの飾りが増えていくと「おうちもクリスマスツリーかざったよ!」と教えてくれるなど、アドベントの時期をワクワクしながら過ごしていました。

中でもおうちの方へのプレゼントづくりをとて楽しみにしていました。個別で取り組むこともあり、その順番を今か今かと一人一人が楽しみに待っていてくれました。

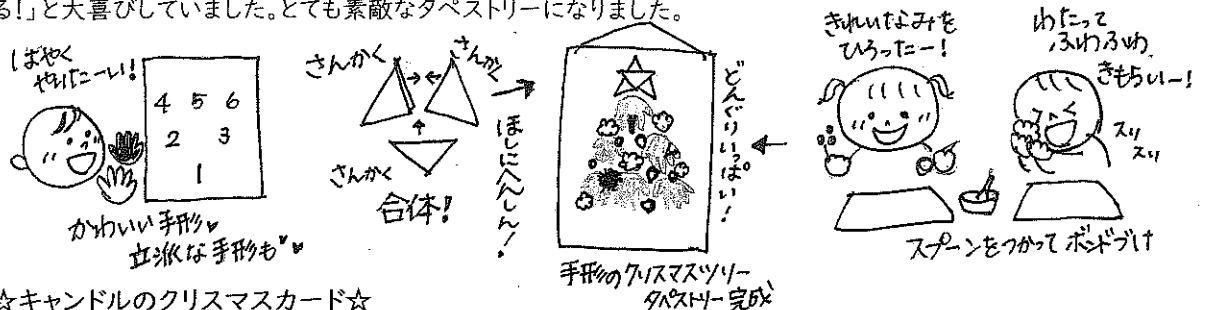
「うちの人をびっくりさせたいから、渡す時まで『ひ・み・つ』にしようね!」と約束をしましたが、どうやら誰もお話ししていないみたいです。「ないしょだよー!」とうちの方にプレゼントを渡す日を心待ちにしていたにじぐみさんです。

☆手形クリスマスツリーのタペストリー☆

台紙に番号を記して順番に手形を押して、クリスマスツリーの形に見立てました。3歳の小さな手形がとても可愛らしいです。手形が好きでない子は無理をせず、絵具でクリスマスツリーをぬりました。(絵の具を塗ることは楽しんでできました。)星は三角に折ったおりがみ3枚を組み合わせたものです。

そしておさんぽでひろったドングリや小枝、そして綿をボンドを使って飾りつけを楽しみました。

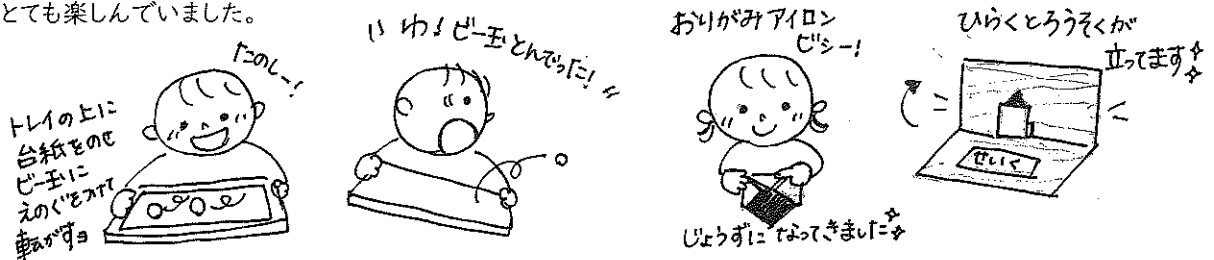
にじぐみさんにとっては初めての木工用ボンド。「ボンドをたっぷりつけてドングリを置いておくと、明日にはくっついているよ。」「うごかさないでね」と声掛けにすると次の日、ボンドが透明になっているのを見て「すごーい!くっついてる!」と大喜びしていました。とても素敵なタペストリーになりました。



☆キャンドルのクリスマスカード☆

アドベントⅡの合同礼拝で本物のキャンドルに灯がともされたとき、にじぐみさんもその様子を息をひそめて、じっと見つめていました。キャンドルの火がゆらゆら揺れるのを見て、小さな心の中にもクリスマスの厳かさが伝わったような一瞬を見た気がします。

にじぐみさんのカードはなんと飛び出すキャンドルです。きっと子どもたちが「ろうそくパッ♪」のお歌に合わせて開いてくれると思います。台紙は金銀の絵具をビー玉転がして模様を付けました。ビー玉転は「もっとやりたーい!」と皆とても楽しんでいました。



とても可愛らしく味わい深いプレゼントが出来上がりました。ひとつひとつの経験が積み重ねとなり、子どもたちの成長の証でもあると思います。おうちの方を思い、一生懸命作ったプレゼントを飾って素敵なクリスマスをお過ごしください☆